

共生・公正・創造



# ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合  
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号  
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290  
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

JR東日本で働くすべての労働者の皆さんへ！

職場討議資料

## JR連合「あるべき労働組合像・労使関係像」

JR連合は2月の中央委員会の民主化方針で、「あるべき労組像・労使関係像」の職場討議資料を提起し、今後、民主化機材として積極活用していくこととしました。この間、JR連合が取り組んできた被害者救済運動の成果により、JR総連運動の異常性が内外に明らかになりつつあります。JR東日本で働くすべての労働者の皆さん、ぜひこの職場討議資料を読んで、労働組合や労使関係のあるべき姿と一緒に考えましょう。JR東日本ユニオンは、このアイデンティティを目指しています。

わが国における労働組合の存在意義  
労働組合が果たすべき役割  
**私たちが求める労使関係**  
あるべき労働組合・労使関係をJRに築くために

### 第10回 私たちが求める労使関係 その1

#### (1) まず、労使の信頼関係を築くことが前提である

労使がお互いの立場や存在を認め、尊重し合える関係になることが必要である

- ・「協力と対立」～企業の発展を求めて協力するが、対立の局面では徹底した協議をし、相互が折り合いをつける“大人の関係”を築くべき
- ・労使の信頼関係は「協定」だけで規定されるものではない

#### (2) 社会的責務の認識を共有化できる関係を築かなければならない

労使が、働く者と企業、社会の持続的な発展を求める認識、とりわけ企業の最大の社会的責任である良質で安定した雇用の確保と人材育成の重要性を共有化できる関係でなければならない

- ・とくにJRにおいては、社会に尊敬され信頼される企業であること、なかでも安全確立の重要性について認識を共有し合うことが重要である
- ・この認識の共有化が、JR連合が求める「経営参加」「参加・提言型」労働運動の基礎となる
- ・労使がグループ労組や協力会社など、JRに関わるすべての労働者を視野に入れて活動を行うことも重要である